

日本病院会 災害対策活動

3月11日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災発生（午後2時46分） ・堺会長を本部長として災害対策本部を設置し、日病ホームページに対策本部設置を掲載
3月16日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに堺会長名による被災地に向けてのお見舞い、被災地支援のための義援金募集を掲載
3月17日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の会員あて被災状況（人員:患者、職員、物:建物・医療機器、ライフライン:電気、水道、ガス、情報）不足 物品、診療稼働状況と併せて会員各位に対し支援協力（支援物資、患者受入れ）情報収集を図り、情報結果をホームページに掲載 ・ホームページにBBS設置（被災された医療施設支援を目的） ・東北6県の役員に対し安否と併せて被災状況の情報提供を実施 ・民主党 第1回被災者健康対策チーム会議が発足（日病からは梶原副会長が参加、呼びかけされた団体:日本医師会、全国医学部長病院長会議、全日本病院協会、日本病院会） ・民主党 第2回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（厚労、総務、防衛省等の現状対応報告）
3月18日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地等からの情報収集、連絡等を図るため、総務課は3/19（土）、20（日）、21（月）事務局待機 ・「被災状況調査」を岩手、宮城、福島を除く全会員へFAX送信し、情報収集にあたる ・ホームページに会員病院被災状況および被災病院への支援状況を掲載
3月21日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・3月26日（土）の総会で予定していた講演を中止することとした ・民主党 第3回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（各団体からの被災地支援報告、問題点を検討）
3月22日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第4回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（各団体からの情報提供、要望説明）
3月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の被災に伴い紛失等となった「診療録の5年保存」について厚労省へ照会（日本病院会、日本診療情報管理学会、日本診療情報管理士会） ・3月31日付で厚労省から「文書保存」に係る取扱い（医療分野）にて震災により診療録等を紛失した場合の取扱い回答を受ける ・ホームページに全会員の情報（被災・支援）、会員からの情報提供（人・物・患者受入）を掲載 ・会員から寄せられた支援情報（人・物・患者受入）を提供
3月24日（木）～26日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・厚労省から被災地（福島県檜枝岐）の避難所支援が堺会長、梶原副会長にて対応。相模原協同病院から、医師2名、看護師2名、ソーシャルワーカー1名、事務1名を派遣。
3月24日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第5回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（各段位宝の情報提供、要望事項聞き取り）

日本病院会 災害対策活動

3月28日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部に「転院希望患者受入れ窓口」を設置 ・会員各位に患者受入れに関する協力依頼を実施（調査「被災病院からの患者受入について」） ・日病ホームページに掲載、会員からの情報提供を依頼 ・民主党 第6回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（厚労省に申し入れした緊急車両へのガソリン供給等回答が報告される）
3月31日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第7回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（トリアージカードの分類、統一を検討 等）
4月1日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・サイボウズにて日病の取り組み一覧を掲載することを計画し、4月4日より掲載。 ・関東・上越・東海地区の会員各位に「休眠している病棟に対する情報提供について」情報提供を依頼
4月4日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第8回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（災害対策支援チームの対応 等を検討） ・6月25日定期常任理事会で義援金の配布基準、会費免除を含めて検討することとし、7月上旬に被災会員に対し実施する。 ・会費請求について「青森7、岩手13、宮城27、福島38、茨城17、千葉4病院」を請求対象外とする対応（岩手、宮城、福島は県下全会員、青森、茨城は沿岸部会員、千葉は銚子市）
4月6日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第9回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（被災地健康支援協議会の設置、トリアージカードの使用を承認）
4月11日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第10回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（被災地健康支援協議会（仮称）の名称を支援連絡協議会への提案があり、各団体が持ち帰り検討。）
4月14日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第11回被災者健康対策チーム会議に梶原副会長が出席（トリアージカードの導入に伴う通知（案）を了承し、被災地におけるJMATトリアージカードとして活用）
4月15日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回災害対策特別委員会を開催、被災地支援に伴う懸案事項、宮城県被災地視察、今後の活動方針を検討
4月19日（火）～20日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・堺会長、佐々木理事（岩手県立中央病院長）は岩手県保健福祉部部長、医療局長を訪問し、岩手県下の医療機関の被災状況について情報収集、陸前高田市、大船渡市の被災地を視察・翌日は、岩手医科大学小川彰学長を訪ね震災時の対応、被災患者の受入れ等の医療活動、医療提供体制の再構築等について情報入手。
4月20日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏期に向けた徹底した節電対策の実施」について要望書（四病協）を提出
4月21日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・日病ホームページにて診療科目別患者受入人数情報を更新（20科目に細分化し468病院分を掲載）
4月22日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・民主党 第12回被災者健康対策チーム会議（対策チームを被災者健康支援連絡協議会として発足するかを協議） ・「被災者健康支援連絡協議会」が日医、日病、日看協など7団体の構成で発足
4月25日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回「被災者健康支援連絡協議会」が日医、日病、日看協など7団体の構成で発足（代表：原中勝征氏、副代表：大久保満男、児玉孝、久常節子、黒岩義之、堺常雄、西澤寛俊各氏、事務局長：横倉義武、嘉山孝正両氏）

日本病院会 災害対策活動

5月9日（月）	・第2回被災者健康支援連絡協議会（今後の活動対策等を検討）
5月13日（金）	・岩手、宮城、福島県の会員に対し被害状況の情報提供依頼を実施
5月16日（月）	・第3回被災者健康支援連絡協議会（協議会に対し「後期研修医の被災地支援」を要望提出
5月18日（水）～19日（木）	・災害対策特別委員会として、今泉担当副会長、塩谷委員長、山田委員が宮城県庁、石巻赤十字病院、宮城県医師会を訪ね被災状況、今後の対応等について情報交換を図る。また、南三陸町の公立志津川病院の仮設診療所の視察を行う。
5月24日（火）	・日病ホームページにてGIS推計による病院情報リストを公開（県別の全病院、会員病院のシートをPDF）
5月30日（月）	・第4回被災者健康支援連絡協議会 開催、被災地の医療従事者が流出（県外、県内他の地域）している問題を検討
6月8日（水）	・第2回災害対策特別委員会 開催、宮城県被災地視察の報告、今後の委員会活動を検討。福島県病院協会から提出された「日本病院会をはじめとする病院団体への要望」を検討。
6月13日（月）	・第5回被災者健康支援連絡協議会（政府に対し「被災者の健康支援等に関わる要望・提言を検討）
6月14日（火）	・政府の松本龍防災担当相に「被災者の健康支援等に関わる要望・提言」を提出。また、追加事項として、日病は、今後起こりうる災害に備え、災害時のIDの必要性を提案。
6月25日（土）	・被災地の会員への義援金送付、会費免除の基準を検討し、7月上旬に被災地会員への通知、配布を了承（配布基準：区分A/3病院・義援金100万円・会費免除5年、区分B/65病院・義援金35万円・会費免除3年、区分C/義援金10万円・会費1年）
6月29日（水）	・今泉副会長が宮城県の公立志津川病院仮設診療所、石巻市立病院を訪ね義援金を手渡した。
7月1日（金）～2日（土）	・堺会長、末永副会長が福島県被災地を視察と併せて雲雀ヶ病院、白河厚生病院への義援金渡し、前原和平 福島県病院協会長からの情報収集を行う。
7月4日（月）	・第6回被災者健康支援連絡協議会（第12回復興構想会議で示した「復興への提言」の概要説明、各団体の活動報告）
7月25日（月）	・第7回被災者健康支援連絡協議会（医療支援のための医師派遣システムの概要説明、サイトの本格稼働は9月から。）
7月28日（木）	・第3回災害対策特別委員会（今後の委員会活動を検討、被災地3県から具体的な支援要請の情報収集を行うこととした。）
8月11日（木）	・高額義援金の寄付者に対し感謝状を贈呈渡すことに決定（8/11現在、約6,800万円が集まる）
8月18日（木）～19日（金）	・災害対策特別委員会（今泉担当副会長、塩谷委員長）として、岩手・福島・宮城へ出向き支援要請等についての情報収集を行う。
8月22日（月）	・第8回被災者健康支援連絡協議会（被災者の健康支援等に関わる第2次要望（案）を検討）

日本病院会 災害対策活動

8月29日（月）	被災者健康支援連絡協議会は、平野達男東日本大震災復興対策担当相に「被災者の健康支援等に関わる第2次要望」を提出
9月14日（水）	・岩手県・福島県両県から支援要請が届き、災害対策特別委員会としての支援対応を検討。
9月17日（土）	・常任理事会において、前原和平（理事、福島県病院協会会長）氏から福島県下の現状報告。今後、定例報告会として、開催。
9月20日（火）	・被災地（岩手、宮城、福島 各県）を除いた会員に対し被災地への支援協力依頼を実施。
10月3日（月）	・第9回被災者健康支援連絡協議会（医療従事者確保センターの役割等を検討）
10月7日（金）	・会員からの被災地（岩手、宮城、福島 各県）支援協力内容を被災地に連絡。
10月18日（火）～19日（水）	・半田市立半田病院から岩手県・岩手県立大船渡病院に清拭車、冷蔵庫、X線防護服、CDコンポ、スチール棚、岩手県立宮古病院へ酸素ボンベ、文書整理ケースを搬送。
11月2日（水）	・第4回災害対策特別委員会を開催、被災地（岩手、宮城、福島各県）への支援状況報告、ライオンズクラブからの被災地支援申し出を検討。災害対策特別委員会にオブザーバーとして、各県からの選出を了承。（岩手県：岩手県立中央病院佐々木崇病院長、宮城県：石巻赤十字病院飯沼一宇院長、福島県：白河厚生総合病院院長、福島県病院協会会長前原和平先生）
11月7日（月）	・第10回被災者健康支援連絡協議会（平野防災担当大臣の出席、本部と被災地3県（岩手、宮城、福島各県）を結んだテレビ会議を実施し、現状報告、今後の支援対応等を検討。福島県病院協会から依頼を受け、梶原副会長が被災者健康支援連絡協議会で「原子力賠償に関する要望」を原中代表に提出。また、今後起こりうる災害に備え、災害時IDの必要性を提案。
11月14日（月）	・第5回災害対策特別委員会を開催し、被災地支援を検討。被災地支援協力を頂い会員施設に対し、堺会長、災害対策特別委員会担当副会長、委員長名によるお礼と現状報告を通知。
11月14日（月）～15日（火）	・岩手県立大船渡病院に赤帽を利用し、ベッド（5台）、清拭車（3台）、与薬カート（2台）、救急カート（1台）、電子レンジ（1台）、を搬送。別途、宅急便にて、ペアン、コッヘル、クーパー、ミクリッツ等を送付。
11月28日（月）	・第6回災害対策特別委員会で世界ライオンズクラブから東日本大震災による被災地支援の協力申し出があり、被災地3県への支援項目を要請。
12月1日（木）	・JA福島県厚生連 鹿島厚生病院（福島県南相馬市）に会員の天理よろず相談所病院（奈良県天理市）から内科医師を1ヶ月交代で6ヶ月間派遣する。（23年12月1日～24年5月31日）
12月12日（月）	・第11回被災者健康支援連絡協議会（「医療従事者派遣システム」を活用することにより、費用面（災害救助法の適用、地域医療再生基金）での優遇措置等のメリットを説明、日病は被災地病院の在宅医療部設置の必要性を説明。）
12月22日（木）	・岩手県ライオンズクラブとの義援金に関する打合せを岩手県立中央病院にて実施。岩手地区ガバナーへ佐々木崇 理事、岩手県保健福祉部医療推進課、医療局経営管理課から支援内容を説明。